

の「新規顧客の」  
 社進めている  
 思う。当社は  
 コライヤーと

# 開

問の間屋・加  
 中心に販売し  
 かし、時代の  
 わせ、販売リ  
 のためにも、  
 各に対し販売  
 いかなくては  
 交社・佐々木  
 の日付中面に

# 船操業

心へ  
 立化された。

## 「分割管理支持を」

### CCAMLR年次会合で提案

南極オキアミ保全プロジェクト  
 南極大洋連合（A.S.O.C.）などが運営する南極オキアミ保全プロジェクトで科学アドバイザーを務めるロドルフォ・ウエルナー博士は9月29日、水産庁記者クラブで



「生態系モニタリングの構築に日本の力を貸してほしい」と語るロドルフォ博士

南極海洋生態系の要とも言える役割を果たしているが、気候変動などの影響を受け、近年は加入量が減少しているという。オキアミ漁は日本、韓国、ノルウェー、ポーランドなどが行っており、漁業国の年間総漁獲量は10万〜16万ト程度。「各国の操業エリアがFAO（国連食糧農業機関）統計海区48に集中していることが、南極海の生態系に影響を与えている」とロドルフォ博士は懸念を示した。オキアミ漁の操業海域は、ペンギンや、オットセイ、海鳥などオキアミ捕食生物の摂餌領域と重複していることもあり、局所的な操業を改め、漁場を広く使い、漁獲圧力の分散を図る必要

## 紙面のきょう

- ▽極洋の大型海外巻網船「第七わかば丸」（760ト型）きょう完成（2、3面）
- ▽室蘭市公設卸売市場II中央から地方へ転換（5面）

があるという。また近年では、オキアミを吸い上げるポンピングシステムの搭載や、各国が申請する漁獲量の増加など「オキアミ漁が新たな局面を迎えている」（同）という。

FAO統計海区48のうち、48・1〜48・4は、任意的に定めた漁獲制限量（トリガー値）62万トが設定されている。ロドルフォ博士は「48区のうち、62万トのトリガー値を小分割する必要がある」と強調。

この他、オキアミ漁の影響と環境変動を峻別するための適切な生態系モニタリング体制の構築、オキアミ漁を監視する専門家組織の必要性などを訴えた。

CCAMLR第28回年次会合は10月26日〜11月6日、豪タスマニア・ホバートで開かれる。

## 墨魚卓滴

愛知県豊橋市の地方卸売市場、豊橋魚市場は普段から一般消費者でも入場可能

「生態系モニタリングの構築に日本の力を貸してほしい」と語るロドルフォ博士

で育てた養殖マグロの出荷を始め、極洋水産が代船建造した大型海外巻網船「第七わかば丸」が1日竣工。これらを足がかりに、今期売上高は195億円を目指す。

充ててこに、12年3月期で売上高220億円、営業利益11億円まで引き上げる方針を掲げる。今期計画の方ツオ・マグロ関連への設備投資予定額は約18億円だ。総投資予定額の6割強を振り向ける考えだ。

## 都市場の来年限開市決まる

月刊「ヨロコボ」73号

※農業分析(229) 3万円から、メラミン検査2万円から  
 ※メタミドホス、ジクロロホスなどモニタリング対象をほぼ網羅



世界で残留農薬分析最高規格 ISO17025の残留農薬検査を中国国内においても同様に提供いたします。  
 (ISO17025 認証機関業界最安値水準を中国でも日本人専門スタッフ対応)  
 ご報告は英語、日本語併記ですので第3国輸出他国際貿易等、各国通関業務に適用可能です。